

# パブリックコメント案件概要

案件名:(仮称)尼崎市下水道ビジョン2031の策定

## 1. 施策の概要

本市では、平成24年度からの10年間の計画期間として策定した「尼崎市下水道中期ビジョン」に基づいて、下水道事業の安定的な事業運営に努めてきており、現行の計画が令和3年度末に目標年度を迎えることから、令和4年度から10年間の新たなビジョンを策定するものです。

## 2. 施策策定(見直し)に至った背景・問題点など

本市の下水道では、下水道施設の老朽化への対応や豪雨及び地震等の自然災害からの被害を軽減するため、災害対応力の強化が重要な課題となっています。そのような課題の解決に向けて、下水道施設の効率的な更新や豪雨等に対する浸水対策の早期実施及び地震発生時の下水道機能の確保に取組むとともに、川や海の水質向上を目的とした下水の高度処理の推進、人口減少による収入減などの課題にも取組み、将来にわたっても持続可能な下水道を運営していく必要があります。

## 3. 目指す姿・対応策など

今回のビジョンは、「尼の下水道を次の世代へ」をキーワード(基本理念)とし、100年後の将来像を見据え、40年間の財政収支を見直し、令和4年度からの10年間の計画として策定します。

そこでは、「まちの暮らしを支える」「災害から守り備える」「将来へ事業をつなげる」という下水道事業の3つの「目指す将来像」の実現に向けた7つの施策、10個の方針、17個の取組を進めます。

## 4. 施策の対象範囲・期間など

対象:市民等

期間:令和4年度から令和13年度までの10年間

## 5. 市民意向調査の概要

### 【市民意向調査の概要】

令和2年9月1日から令和2年9月30日までの間、今後の下水道事業に期待することや重点的に取り組んでほしい項目についての意見聴取を行いました。(2人5件)

### 【寄せられた意見】

- ・災害対策の具現化
- ・省エネルギー対策の取組検討等

## 6. 施策の検討経過

### (1) 素案検討過程での主な論点

高度経済成長期に整備してきた施設の更新をはじめ、大規模災害への備えや人口減少による収入減など新たに様々な課題が生じています。その課題を克服していくためには今後の下水道事業について市民の皆様とともに考え、取組んでいくことが大切であり、安定的な運営を次の世代へ引き継いでいくことが非常に重要となります。本ビジョンでは、基本理念を「尼の下水道を次の世代へ」とし、下水道事業の3つの将来像の実現に向けた、老朽化対策、自然災害からの被害軽減対策、地球温暖化対策、財政運営手法、事業運営体制などの各施策についての妥当性を令和2年11月に設置しました公営企業審議会(全体会5回、専門部会3回)において、審議いただきました。

### (2) 策定過程で比較検討した複数案の主な項目と反映理由

—

## 7. 今後のスケジュール

- ・令和3年 9月 市民意見公募手続の実施
- ・令和3年11月 寄せられた意見を踏まえ尼崎市公営企業審議会において審議・答申
- ・令和3年12月～ 市民意見公募結果の公表

## 8. 添付資料

尼崎市下水道ビジョン2031(素案)の概要  
尼崎市下水道ビジョン2031(素案)

## 9. お問い合わせ先

公営企業局上下水道部計画担当 〒660-0051 尼崎市東七松町2丁目4-16 上下水道庁舎3階  
電話番号(TEL) 06-6489-6588 、ファクス(FAX) 06-6489-7407  
メールアドレス(Eメール) ama-gesuidou-kensetsu-1@city.amagasaki.hyogo.jp